

シドニー派遣を終えて

名古屋市立山田高等学校 2年 依田夏実

1. 私の研修の目標

私は将来、教育関係の仕事に就きたいと考えています。そのためオーストラリアと日本の学校教育の違いに興味があり、セント・アロイシヤス・カレッジ(St. Aloysius' College)やブルーマウンテンズグラマースクール(BMG S)での体験入学で様々なことを学びたいと考えていました。また、水不足で有名な国なので実際に生活面にどれほど影響があるのかホームステイでの生活を通して気づくことも目標の一つでした。

2. 事前の準備

事前の準備として、名古屋の紹介を現地の方々にするために、学校ごとにそれぞれ違うテーマを決め観光スポットや伝統的な食べ物、お祭りについて英語でプレゼンテーションを行い派遣団で共有しました。私は英語力に自信が無かったので、ホストファミリーに私自身のことを分かりやすく紹介する「自分アルバム」を作成したり、スムーズに質問が出来るように必ず聞いておきたいことは紙に書いたりしておきました。

3. シドニーでの体験

私は、セント・アロイシヤス・カレッジ(St. Aloysius' College)に1日、ブルーマウンテンズグラマースクール(BMG S)に3日間、研修期間中に2つの学校を訪れました。私が一番印象に残ったことは2つあります。一つ目は生徒たちが将来就きたい職業に必要な科目を選択して、人それぞれ違う時間割で動いていたことです。BMG Sで私はバディの来年の授業選択の説明会に参加しました。1つの教科にBasic, Standard, Advancedというレベル別の教科書が置かれていて、自分のレベルに合った教科書を選択して使えることがとてもいいなと思いました。

二つ目はたくさんの言語を学んでいることです。日本の学校では英語以外の言語を教えている学校は少ないと思います。BMG Sの私のバディは日本語

とフランス語を勉強していました。私たちが英語を学ぶだけでもとても大変なことなのに2つの言語を学ぶことはより一層大変だと思います。多国籍国家だからこそ、複数の言語を学ぶことが必要なことなのだと思います。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

研修の目標であった、オーストラリアと日本の学校教育の違いを数多く見つけることが出来ました。水不足についてはホームステイ中感じることは特にありませんでした。しかし、水不足について質問をしてみたら私たちが思っている以上に深刻なことが分かりました。また、ホストファミリーとの会話を通じて以前よりも社交的な性格になれたと思います。

<課題>

このシドニー派遣を通して、私は英語力の低さを実感しました。伝えたいことがあるのに上手く表現することや、相手の話していることをすぐに理解することが出来ませんでした。また、積極性の大切さに気付きました。英語力に自信が無いからと初めの方は、私から話しかけるのをためらってしまいました。あとから、あの時もっと話しかければよかったと後悔があります。積極的に私の方から動かなければたくさんの時間を無駄にしていると痛感しました。12月にBMG Sの生徒が山田高校に来校する予定で、その中に私のバディをしてくれた子も参加予定です。それまでに英語力を向上させ、以前よりもコミュニケーションが出来るように努めていきます。



ホストファミリー